

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修
グループ討議成果物

学生をあえて『困らせる』

効果的な指導内容を考えるにあたって

テーマ： 指導内容 / 7班

発表日：2013/10/18
会場：大阪大学

問題点は なんだろう？

× すぐあきらめる



• 成長がみられない



• 自主性も育たない



• 何を求めているのかわからない

だから・・・

図書館も困っている！！

負のスパイラルが起きている

ニーズの把握が
できない

教育内容が
面白くない

教員にも
興味を持って
もらえない

卒業までの
到達点が
はっきりして
いない



じゃあ どうする？

困る機会をあえてつくる

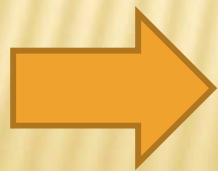
自分が困らないと覚えられない

こうしたら どう？



グループワーク

小さな課題をあたえて、解決させる



経験値UP!

『学生主体の学び』が実現すると・・・

すてきな連鎖反応

到達点が見える

アクティブ
ラーニング

ニーズの把握



連携

業務軽減

図書館員

うれしい 悲鳴

こまっちゃう～

